

小学校 第2学年「図画工作科」シラバス

国語の領域構成

次の3領域です

- 楽しい造形活動をする
- 絵や立体、つくりたいものをつくる
- 関心をもって見る

2年生の目標

- 表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくりだす喜びを味わうようにする。
- 材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- かいたり、つくったりしたものなどを見ることに関心をもち、その楽しさを味わうようにする。

★評価の観点

①「造形への関心・意欲・態度」
表したいこと、つくりたいものを自分でつくりだすことやつくったものなどを見ることに関心をもち、進んで造形表現活動を楽しもうとする。
→行動観察、作品

②「発想や構想の能力」
感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見つけ、その思いをふくらませながら表したり、つくり方を考えたりする。
→行動観察、作品、作品カード

③「創造的な技能」
かいたり、つくったりしながら、思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。
→技能・行動観察、作品

④「鑑賞の能力」
かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さなどに気付いたりして、楽しく見る。
→行動観察、作品カード

	学習する単元の名称	主な学習内容
前期	・たのしいな	・2年生で学習する図画工作のめあてを知り、みんなで大きなものを作って、遊んだり、見たりします。
	・いっぱい ゆめいっぱい	・自分の夢を思い浮かべ、自分の好きな描画材や材料で、工夫して表します。
後期	・これいいかんじ (ザラザラフワフワ)	・紙を丸めたり、しわしわにしたりして、紙の大きさや特徴を感じ、袋状にしたり、丸めたりして形を作ります。
	・おはなしロボット	・いろいろな大きさの箱や容器を集め、積んだり、並べたりして、工夫してロボットを作り、遊びます。
前期	・どんどんできるよ	・新聞紙やちらしなどを同じような幅に切り、の紙を道にして、どんどんつなぎ、とくるところに町も作り、つくった乗り物を走らせたり、話し合ったりして、楽しく活動します。
	・きょうかしよびじゅつかん (あつめてかざってたからもの)	・自分にとっての「たからもの」を集め形や色を生かした見せ方を考えて、並べたり、組み合わせたりして飾り、見せ合ってそのよさや面白さなどを話し合います。
後期	・ふれあい活動啓発ポスター	・知らせたいことが伝わるように絵や文字を工夫して表します。
	・かたおしかたぬき	・粘土の板を作り、いろいろな道具を使って、型抜きや型押しをし、できた形を並べたり組み合わせたりして、思いついたものを作ります。
前期	・ひかりのおくりもの	・自分の思いに合わせて、段ボール紙に穴を開けて、色セロハンを貼り、校庭などに写したり、家に飾ったりして楽しめます。
	・見て見ておはなし	・物語やお話を聞いたり読んだりしながら、表したい場面を工夫して絵に表します。
後期	・ざいりょうのへんしん (ウキウキウッキー)	・身の回りの材料を集め、その変形や組み合わせを考え、つくりたいものの感じがでるように着色したり、接着したりします。
	・おしゃれなどうぶつ	・粘土のつまみだし・削りだし、付け足しなどの技法を工夫して動物の形を作り、友だちの作品と組み合わせると楽しい場面を作ります。
前期	・うつつて うつつて	・自分の表したいテーマを切ったり貼ったりして紙版画に表します。
	・きってワクワクめくルンルン (めくるとなあに)	・カッターナイフを使い、窓の形や開き方、家の中の様子などを工夫して作ります。
後期	・ピョコピョコストロージャック	・ストローを使った動く仕組みを生かした作品をつくり、楽しく遊びます。
	・かみのしくみをつかって	・紙の特性を生かした動く仕組みを生かした作品を作ります。